

# 若者就農意欲喚起 オンラインシンポジウム

若者を三重県農業に呼び込む方策を一緒に考えましょう。

三重県は、変化に富んだ地形や温暖な気候、大消費地に隣接する立地条件など、農業ビジネスの展開に恵まれた環境を有し、日本の農業を先導する青年農業経営者も輩出しています。

一方、農業就業人口に占める65歳以上の割合は高く、高齢化が深刻な状況にあります。こうした状況の打破に向け、若者にとって魅力ある農業のあり方を一緒に考えましょう。

**日時** 令和3年2月22日(月) 14:00～17:00 (受付13:40～)

**会場** オンライン配信 (参加申し込みのあった方にURLをご案内します。)

**参加申込** ▶締切 令和3年2月18日(木)  
▶方法 メールにて三重県担い手支援課までお申込みください。

送信先:ninaite@pref.mie.lg.jp

件名:オンラインシンポジウム申し込み

本文:お名前、(団体名・会社名)、電話番号、メールアドレスを明記ください。

## プログラム

### 第1部 基調講演 14:00～16:00

テーマ 産業としての農業の魅力と新たな視点での経営のポイント

- 株式会社トリ風土研究所(大阪市) 代表トリ締役 宮武 裕右氏
- キノシタファーム(大阪府和泉市) 代表 木下 健司氏
- 株式会社ベジーツ(長野県) 代表取締役 山本 裕之氏



(株)トリ風土研究所  
宮武 裕右氏

広告代理店勤務を経て、2013年、トリ風土研究所を設立。農業高校生との地鶏復活プロジェクトなど食育事業を展開。食を通じて、人と人、人と生産地を繋ぐプロジェクトを展開中。



キノシタファーム  
木下 健司氏

岸和田市と和泉市にてオリジナルブランドのミニトマトを生産する、大阪を代表する農家の一人。週刊ダイヤモンド「儲かる農業」2019中小キラリ農家1位。



(株)ベジーツ  
山本 裕之氏

長野県で高原野菜等を生産。外食産業との共同出資で法人を設立するなど企業との連携にも取り組む。若者と交流しながらこれからの農業を発信中。

### 第2部 県内事例紹介 16:00～16:40

テーマ 三重県農業の可能性と人材の育成

- 株式会社かきうち農園(御浜町) 代表取締役 垣内 清明氏
- サノ・オーキッド(鈴鹿市) 佐野 拓也氏



(株)かきうち農園  
垣内 清明氏

Uターンにより農地を継承し、2011年に会社設立。15種類のかんきつ類を生産。

積極的に海外展開や6次産業化にも取り組む。



サノ・オーキッド  
佐野 拓也氏

様々な洋蘭を周年生産。気軽に飾れる蘭をテーマにオンリーワンの商品づくりや、消費者との交流、営業活動にも注力し、経営規模を拡大している。

### 第3部 パネルディスカッション 16:40～17:00

テーマ 若者を農業に呼び込む方策

- コーディネーター:宮武裕右氏
- パネリスト:木下健司氏、山本裕之氏、垣内清明氏、佐野拓也氏

プログラムの内容は変更になる場合がございます。

お問い合わせ・申込み先

三重県農林水産部担い手支援課 TEL:059-224-2354

FAX:059-223-1120 E-mail:ninaite@pref.mie.lg.jp

お問い合わせ・お申込みの際にご記入いただきました個人情報は、本シンポジウムに関する連絡以外の目的で使用いたしません。